

第 3 3 回米子市水道事業審議会 資料

- ・ 令和 3 年度決算について**

令和 4 年 1 1 月 8 日(火)

～ 決算の概要 ～

1 業務の状況について

普及率は、99.4%となりました。

業務の実績の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
給水人口 (人)	182,960	182,320	181,554	△ 766	△ 0.4	米子市、境港市、日吉津村
給水戸数 (戸)	76,521	77,142	77,420	278	0.4	〃
年間配水量 (m ³)	22,336,388	22,558,185	22,200,309	△ 357,876	△ 1.6	
年間給水量 (m ³)	20,427,719	20,541,184	20,220,833	△ 320,351	△ 1.6	
有収率 (%)	91.5	91.1	91.1	0.0	0.0	

* 有収率は、年間配水量のうち、料金の基礎となった水量の割合

2 経営状況（収益的収支）について

収益的収支 … 1年間の営業活動によって生じる収入及び支出です。

(消費税及び地方消費税抜き)

①収益的収入

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
総 収 益	3,405,055	3,505,261	3,363,656	△ 141,605	△ 4.0	
給水収益	2,806,285	2,772,315	2,757,579	△ 14,736	△ 0.5	水道料金収入
その他収益	598,770	732,946	606,077	△ 126,869	△ 17.3	

②収益的支出

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
総 費 用	2,885,138	3,098,481	2,923,099	△ 175,382	△ 5.7	
営業費用	2,716,030	2,935,054	2,766,462	△ 168,592	△ 5.7	不要施設撤去工事費の減
営業外費用	168,676	161,882	155,110	△ 6,772	△ 4.2	主に支払利息等
特別損失	432	1,545	1,527	△ 18	△ 1.2	

当年度純利益 (①-②)

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
純利益(損失)	519,917	406,780	440,557	33,777	8.3	

収益的支出

各科目の解説（5Pに記載してあるものは除いています。）

原水及び浄水費	原水の取水に係る動力費、薬品費、滅菌設備の維持などに要する費用
配水費	配水池、配水管などの維持などに要する費用
給水費	給水装置の一部(公道部分など) ^(注1) 、量水器などの維持などに要する費用
受託工事費	原因が水道局以外の他者による工事費
業務費	水道料金の検針、請求などに要する費用
総係費	水道事業活動全般に関連する費用
資産減耗費	有形固定資産の除却 ^(注2) 又は撤去費等 固定資産の除却は非現金支出、撤去費は現金支出
その他営業費用	給水装置用の販売器具、材料等の原価と雑支出
過年度損益修正損	前年度以前の損失の修正 過年度の水道料金の調定減額など

注1 給水装置・・・配水管から分岐した部分からお客様の給水栓（蛇口など）までの装置

注2 除却・・・更新などで使わなくなった固定資産の簿価をなくす（費用化する）こと

3 資本的収入及び支出について

資本的収支 … 長期間、水道事業に役立つ施設の整備や更新などに関する収入及び支出です。
(消費税及び地方消費税込み)

③資本的収入（翌年度にあてる繰越工事資金等は除く。） (千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
総 収 入	478,170	1,058,299	1,028,716	△ 29,583	△ 2.8	
企業債	234,000	766,800	690,000	△ 76,800	△ 10.0	基幹管路更新事業 老朽管更新事業ほか
固定資産売却代金	79	4,579	1	△ 4,578	著減	
工事負担金	152,158	221,402	250,123	28,721	13.0	下水道関連工事など
他会計出資金	4,392	4,500	4,610	110	2.4	旧淀江町統合簡水分起債償還
補助金	87,540	61,018	83,982	22,964	37.6	基幹管路更新事業 防衛補助事業に伴うもの

④資本的支出 (千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
総支出	1,686,791	2,337,286	2,220,168	△ 117,118	△ 5.0	
建設改良費	1,189,284	1,784,425	1,624,158	△ 160,267	△ 9.0	基幹管路更新事業 老朽管更新事業 水源施設整備事業ほか
企業債償還金	497,507	552,861	596,010	43,149	7.8	

資本的収支不足額（④－③） (千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増 減	増減率 (%)	摘要
資本的収支不足額	1,208,621	1,278,987	1,191,452	△ 87,535	△ 6.8	

4 補てん財源

補てん … 建設投資の執行などによる不足額を、収益的収支の減価償却費相当分などで補てんする。

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減	増減率 (%)	摘要
計	1,208,621	1,278,987	1,191,452	△ 87,535	△ 6.8	
損益勘定留保資金	910,621	916,956	941,137	24,181	2.6	減価償却費など
繰越利益剰余金	228,852	238,318	145,904	△ 92,414	△ 38.8	剰余金取崩し
消費税資本的 収支調整額(注3)	69,148	123,713	104,411	△ 19,302	△ 15.6	消費税計算による

5 議決後の内部留保資金の現在高

補てん、積立など9月議会で議決を受けた後の最終的な値

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減	増減率 (%)	摘要
減価積立金	261,700	282,100	304,200	22,100	7.8	将来の企業債元金の償還にあてるため、利益の20分の1を積み立てる。
その他積立金	29,309	29,309	29,309	0	0.0	水源涵養林取得積立金
繰越利益剰余金	2,860,261	3,008,323	3,280,876	272,553	9.1	今後の建設投資に使用
計	3,151,270	3,319,732	3,614,385	294,653	8.9	

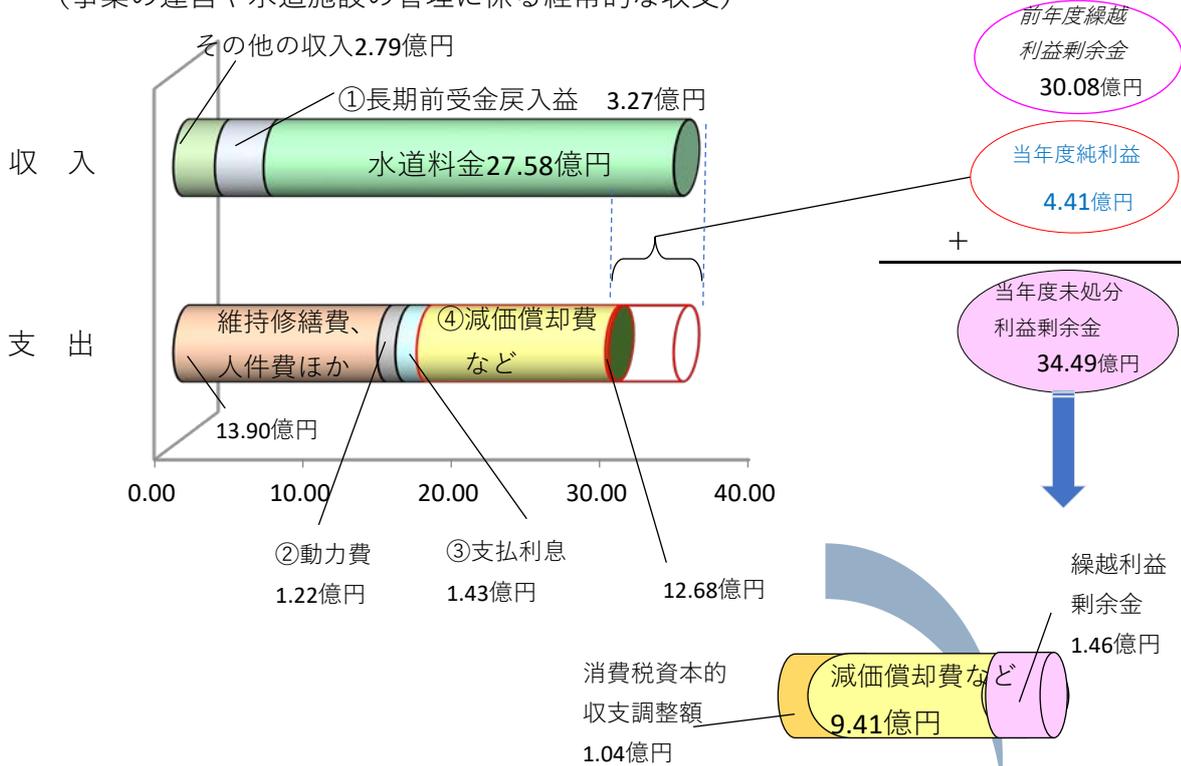
注3 消費税及び地方消費税資本的収支調整額・・・

資本的収支の消費税額 消費税納付額は、収益的収支、資本的収支合わせて計算し、収益的収支に計上する。このため、収益的収支は、収入が不足している資本的収支の分も消費税額控除を受けているので、税込み処理では、その分は資本的収支への補填財源となる。税込み処理の計算上の数字で現金収入があるわけではない。

収益的収入				資本的収支			
仮受 消費税額 ①	2,000	仮払 消費税額 ②	300	仮受 消費税額 ③	100	仮払 消費税額 ④	300
①-②		1,700		③-④		-200	
消費税計上額		1,500					
差し引き		200					
消費税納付額の計算							
仮受		仮払		仮受		仮払	
①	2,000	②	300	③	100	④	300
計	2,100	計	600	計	2,100	計	600
消費税納付額		2,100-600=1,500					

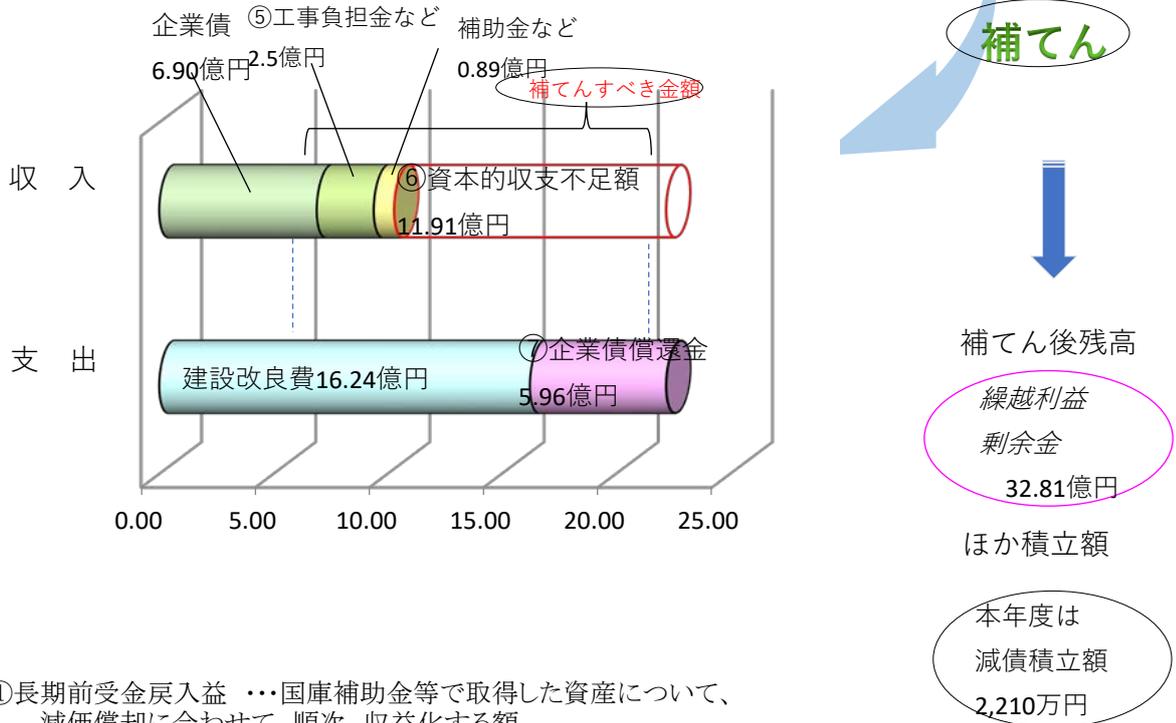
★収益的収支の決算（税抜）

（事業の運営や水道施設の管理に係る経常的な収支）



★資本的収支の決算（税込）

（水道施設の新設や更新などに係る投資的な収支）



- ①長期前受金戻入益 …国庫補助金等で取得した資産について、減価償却に合わせて、順次 収益化する額
- ②動力費 …水道水をお届けするために必要な電気料金など。
- ③支払利息 …企業債(借入金)の利息
- ④減価償却費 …施設の新設や更新に使ったお金を一度に費用とはせず、毎年、費用化するものです。実際の現金の支出はありません。
- ⑤工事負担金 …下水道や土木工事などに伴い発生する他会計が負担すべきお金です。
- ⑥資本的収支不足額 …減価償却費や繰越利益剰余金などの内部留保資金で補てんします。
- ⑦企業債償還金 …企業債(借入金)の元金の返済です。

建設改良事業の概要

継続して行っている管路に関わる事業

事業名	事業内容	工事費(千円)
1 配水管改良事業ほか	鋳鉄管、ポリエチレン管 φ50～φ200mm 6,729m	430,614
2 老朽管更新事業	ポリエチレン管 φ50mm 2,158m	111,829
3 基幹管路更新事業	米子市夜見町、富益町 φ500mm 397m	132,141
4 防衛補助事業	境港市小篠津町、幸神町 φ50～φ300mm 378m	63,588

水源施設に関わる事業

事業名	事業内容	工事費(千円)
5 戸上水源地整備事業	電気設備工事 (令和3年度支払分)	88,270
	発電機室建築工事 (令和3年度支払分)	17,195
	深井戸5号井更新工事	63,250
6 車尾水源地調整池 更新事業(令和3年度支払分)	調整池建設工事	508,004

令和4年度に工期をまたぐもの

事業名	事業内容	工事費(千円)
7 戸上水源地整備事業	電気設備工事 発電機室建築工事	工期～令和7年度 (請負額883,609) 工期～令和4年度 (請負額49,170)

～ 経営比較分析 ～

(総務省が公表を求める経営指標による)

◇経営の健全性

項目	年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
	①経常収支比率 (%)	本市	121.3	113.6	117.4	113.1
	類似団体	114.0	112.6	113.3	112.4	-
②累積欠損金比率 (%)	本市	-	-	-	-	-
	類似団体	-	0.75	0.51	0.29	-
③流動比率 (%)	本市	368.9	452.5	469.4	307.7	413.5
	類似団体	307.8	318.9	309.1	306.1	-
④企業債残高対給水収益比率 (%)	本市	450.3	447.6	446.8	460.0	465.9
	類似団体	295.4	290.1	290.4	294.7	-

(※類似団体の数値は、給水人口15万人以上30万人未満の団体の全国平均値)

$$\text{①経常収支比率} = \text{経常収益} / \text{経常費用} \times 100$$

収益性を見る際の最も代表的な数値である。前年度と比べ2.0ポイント上昇した。100%以上を維持している。単年度収支は黒字を維持し、類似団体平均と同水準で推移している。

$$\text{②累積欠損金比率} = \text{累積欠損金} / \text{事業の規模} \times 100$$

累積欠損金は生じていない。

$$\text{③流動比率} = \text{流動資産} / \text{流動負債} \times 100$$

類似団体平均を上回っている。

$$\text{④企業債残高対給水収益比率} = \text{企業債残高} / \text{給水収益}$$

給水収益に対する企業債残高の割合を示しています。前年度を5.9ポイント上昇した。類似団体平均より高い値を示している。今後は、計画的に借入残高の抑制を実施する。

概ね健全な経営を維持しているが、収益が減少する中、今後は、計画的に借入残高を抑制することも必要となります。

◇経営の効率性

項目	年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
	⑤料金回収率 (%)	本市	118.6	109.5	113.4	109.0
類似団体		106.0	104.8	106.1	103.8	-
⑥給水原価 (円)	本市	115.9	125.7	121.1	124.6	123.3
	類似団体	158.6	161.8	161.0	159.9	-
⑦供給単価 (円)	本市	137.5	137.6	137.4	135.8	136.4
	類似団体	168.1	168.1	170.9	165.9	-
⑧施設利用率 (%)	本市	65.8	64.4	63.4	64.2	63.0
	類似団体	62.9	62.3	61.7	63.1	-
⑨有収率 (%)	本市	91.2	91.9	91.5	91.1	91.1
	類似団体	90.1	90.2	90.0	90.9	-

(※類似団体の数値は、給水人口15万人以上30万人未満の団体の全国平均値)

$$\text{⑤料金回収率} = \text{供給単価} \div \text{給水原価} \times 100$$

100%を超える水準で推移しており、健全性を維持している。現状、給水原価は給水収益で賄えているが、今後、収益の減少に留意しなければならない。

$$\text{⑥給水原価} = (\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}) \div \text{年間総有収水量}$$

類似団体平均より低い水準である。

これは、100%自己水源で賄っていることにも起因している。

$$\text{⑦供給原価} = \text{給水収益} \div \text{年間総有収水量}$$

1 m³当たりの水の販売価格です。

$$\text{⑧施設利用率} = \text{一日平均配水量} \div \text{一日配水能力} \times 100$$

類似団体平均より低い水準である。

$$\text{⑨有収率} = \text{年間総有収水量} \div \text{年間総配水量}$$

概ね効率的といえるが、施設の効率的な利用ができていないかを検証し、更に有収率などの向上に努めなければなりません。

類似団体平均を上回っている。今後も、漏水調査等実施し、更に効率的な運用に心がける。

◇老朽化の現状

項目	年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
	⑩有形固定資産減 価償却率 (%)	本市	43.4	44.4	45.4	46.1
類似団体		48.0	48.9	49.6	50.3	-
⑪管路経年化率 (%)	本市	11.9	13.0	13.5	13.6	14.8
	類似団体	16.6	18.5	20.5	21.3	-
⑫管路更新率 (%)	本市	0.71	0.92	0.76	0.81	0.85
	類似団体	0.65	0.70	0.72	0.69	-

(※類似団体の数値は、給水人口15万人以上30万人未満の団体の全国
平均値)

⑩有形固定資産減価償却率 = 有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち
償却資産の帳簿原価 × 100

減価償却の進み具合を表します。前年度を0.7ポイント上回った。

⑪管路経年化率 = 法定耐用年数を経過した導送配水管延長 /
導送配水管延長 × 100

類似団体平均より低い水準であるが、法定耐用年数を超えた管路
が全体の1割を超えている。

⑫管路更新率 = 当該年度に更新した導送配水管延長 / 導送配水管延長 × 100

前年度より0.04ポイント上昇した。類似団体同様に、低い水準である。財政状況を踏まえた
適正な計画のもと更新を実施していく必要がある。

施設、管路ともに老朽化の傾向にあ
ります。中長期的な視野に立って、優
先度を踏まえた更新が必要となってい
ます。

損益計算書

(消費税及び地方消費税抜き)

(単位 千円)

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
				令和元年度	令和2年度
1 営業収益	3,026,959	3,019,106	3,022,410	99.7 %	100.1 %
給水収益	2,806,285	2,772,315	2,757,579	98.8	99.5
受託工事収益	76,672	107,805	114,588	140.6	106.3
加入者納付金	43,373	37,121	44,179	85.6	119.0
その他営業収益	100,629	101,865	106,064	101.2	104.1
2 営業費用	2,716,030	2,935,054	2,766,462	108.1	94.3
原水及び浄水費	408,190	378,294	372,502	92.7	98.5
配水費	239,759	297,372	267,714	124.0	90.0
給水費	111,855	113,545	113,841	101.5	100.3
受託工事費	68,621	95,208	100,818	138.7	105.9
業務費	299,087	299,035	291,832	100.0	97.6
総係費	286,617	292,064	294,725	101.9	100.9
減価償却費	1,200,970	1,204,201	1,210,240	100.3	100.5
資産減耗費	100,931	255,335	114,790	253.0	45.0
その他営業費用	0	0	0	-	-
営業利益	310,929	84,052	255,948	27.0	304.5
3 営業外収益	361,118	484,809	341,206	134.3	70.4
受取利息及び配当金	207	209	159	101.0	76.1
他会計補助金	10,093	28,842	8,940	285.8	31.0
補助金	150	0	0	0.0	-
引当金戻入益	0	0	0	-	-
長期前受金戻入	342,273	443,059	326,881	129.4	73.8
雑収益	8,395	12,699	5,226	151.3	41.2
4 営業外費用	168,676	161,882	155,110	96.0	95.8
支払利息及び企業債取扱諸費	160,304	150,425	143,063	93.8	95.1
雑支出	8,372	11,457	12,047	136.8	105.1
経常利益	503,371	406,979	442,044	80.9	108.6
5 特別利益	16,978	1,346	40	7.9	3.0
固定資産売却益	16,914	1,339	0	7.9	0.0
過年度損益修正益	64	7	40	10.9	571.4
その他特別利益	0	0	0	-	-
6 特別損失	432	1,545	1,527	357.6	98.8
固定資産売却損	0	71	31	-	43.7
災害による損失	0	0	0	-	-
過年度損益修正損	432	1,474	1,496	341.2	101.5
その他特別損失	0	0	0	-	-
当年度純利益(純損失)	519,917	406,780	440,557	78.2	108.3
7 前年度繰越利益剰余金	2,595,196	2,860,261	3,008,323	110.2	105.2
当年度末処分利益剰余金	3,115,113	3,267,041	3,448,880	104.9	105.6

貸借対照表

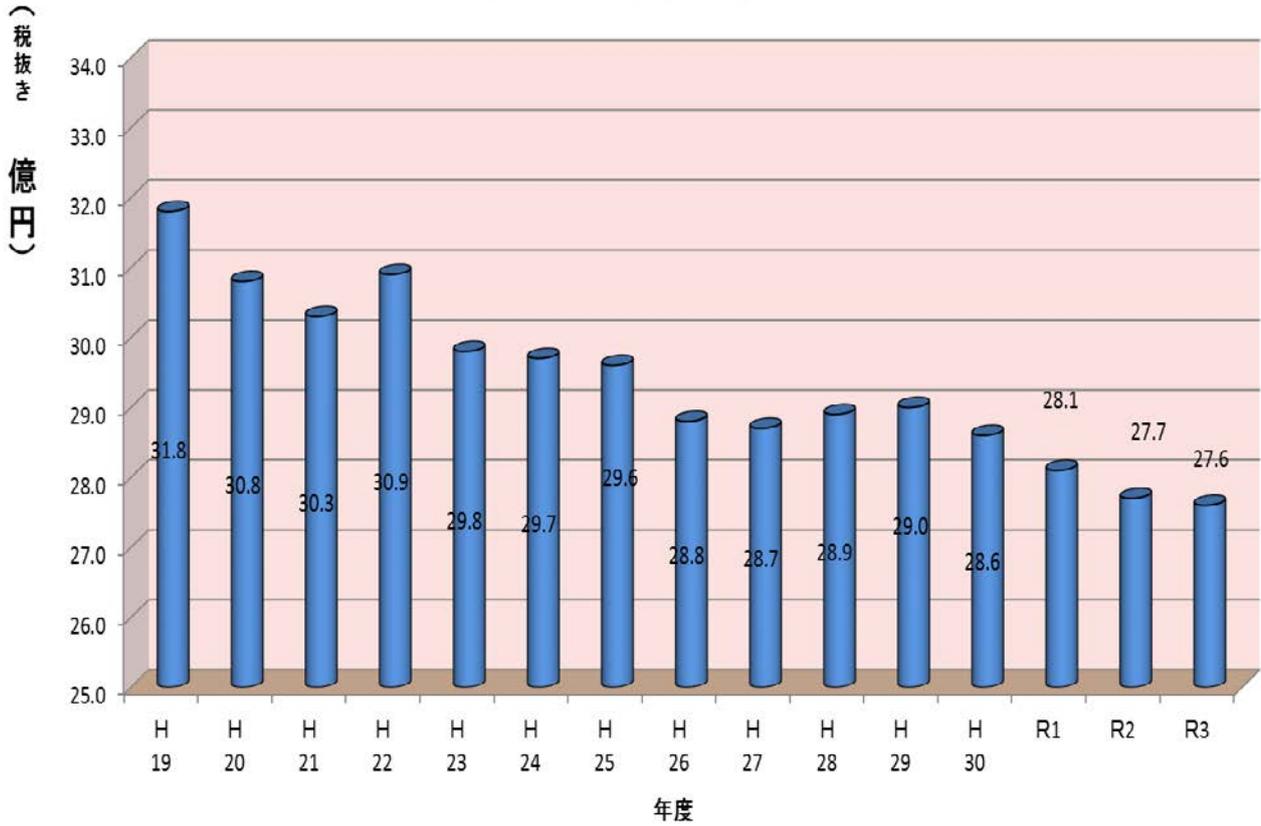
(単位 千円)

資 産 の 部					
科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
				令和元年度	令和2年度
有形固定資産	34,094,506	34,279,550	34,523,380	100.5%	100.7%
土地	1,898,160	1,893,591	1,893,591	99.8	100.0
建物	2,107,869	2,025,711	1,946,427	96.1	96.1
構築物	28,451,480	28,265,266	28,818,521	99.3	102.0
機械及び装置	1,516,201	1,645,563	1,558,494	108.5	94.7
車両運搬具	9,294	7,884	7,040	84.8	89.3
工具器具及び備品	79,585	68,317	57,616	85.8	84.3
建設仮勘定	31,917	373,218	241,691	1,169.3	64.8
無形固定資産	10,518	8,256	6,020	78.5	72.9
特許権	79	45	36	57.0	80.0
ソフトウェア	10,439	8,211	5,984	78.7	72.9
流動資産	4,733,156	5,538,230	5,071,455	117.0	91.6
現金・預金	4,157,576	4,904,058	4,481,388	118.0	91.4
未収金	508,960	600,603	532,232	118.0	88.6
貯蔵品	6,460	5,809	5,736	89.9	98.7
前払金	60,160	27,760	52,099	46.1	187.7
合計	38,838,180	39,826,036	39,600,855	102.5	99.4
負 債 ・ 資 本 の 部					
固定負債	13,557,083	13,616,205	13,522,111	100.4%	99.3%
企業債	11,992,891	12,156,325	12,224,078	101.4	100.6
引当金	1,564,192	1,459,880	1,298,033	93.3	88.9
流動負債	1,008,390	1,799,929	1,226,416	178.5	68.1
企業債	545,504	596,010	622,247	109.3	104.4
未払金	317,270	949,794	433,801	299.4	45.7
未払費用	44,544	43,617	37,054	97.9	85.0
前受金	1,890	14,520	31,740	768.3	218.6
引当金	79,940	75,965	63,182	95.0	83.2
預り金	19,242	120,023	38,392	623.8	32.0
繰延収益	8,784,159	8,510,074	8,507,334	96.9	100.0
長期前受金	8,784,159	8,510,074	8,507,334	96.9	100.0
資本金	12,077,093	12,310,445	12,553,372	101.9	102.0
資本金	12,077,093	12,310,445	12,553,372	101.9	102.0
剰余金	3,411,455	3,589,383	3,791,622	105.2	105.6
受贈財産評価額	31,333	31,333	31,333	100.0	100.0
減債積立金	235,700	261,700	282,100	111.0	107.8
水源涵養林取得積立金	29,309	29,309	29,309	100.0	100.0
繰越利益剰余金	3,115,113	3,267,041	3,448,880	104.9	105.6
合計	38,838,180	39,826,036	39,600,855	102.5	99.4

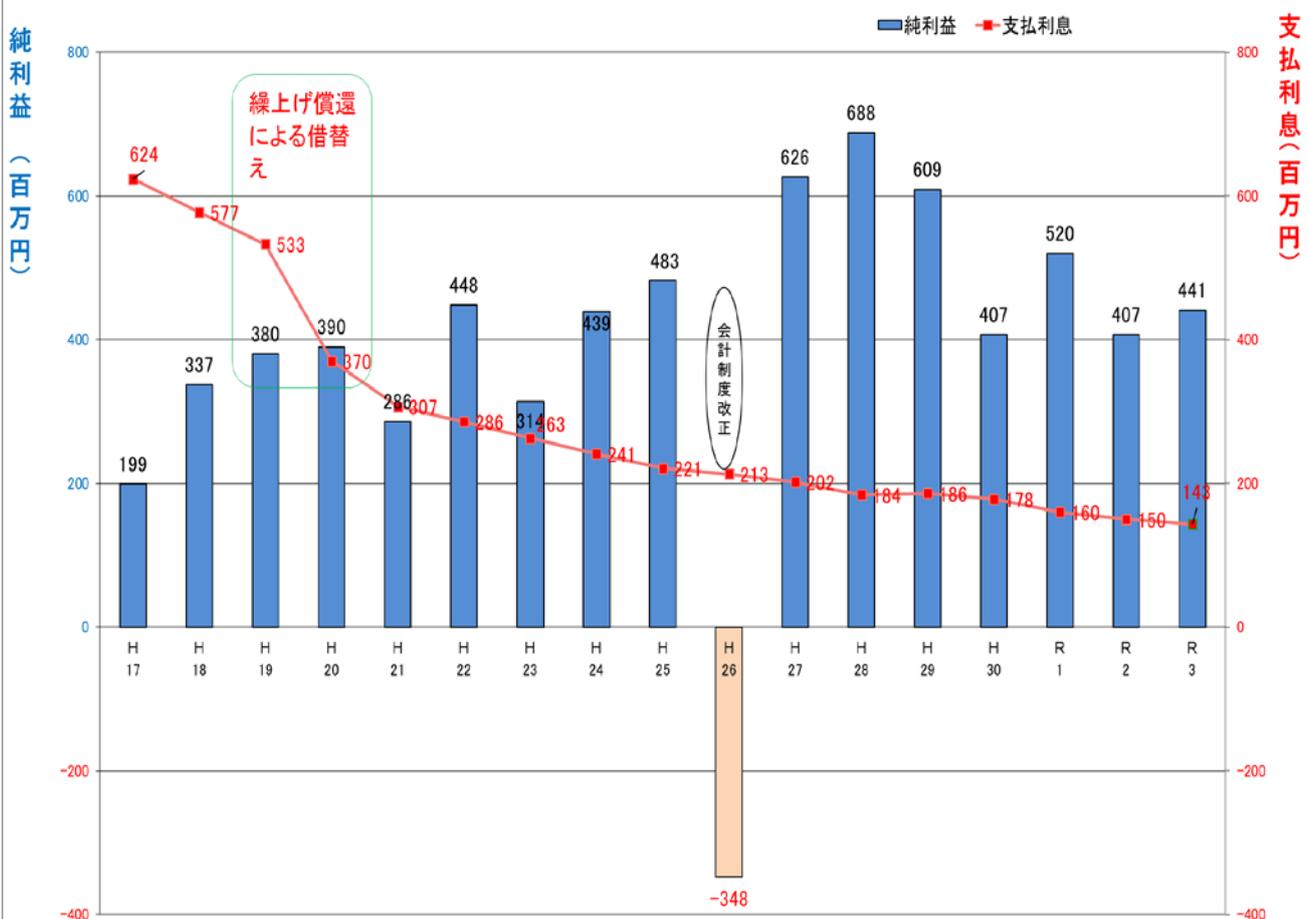
※繰越利益剰余金は補てん前の額です。

※消費税含まず。

給水収益(税抜)の推移

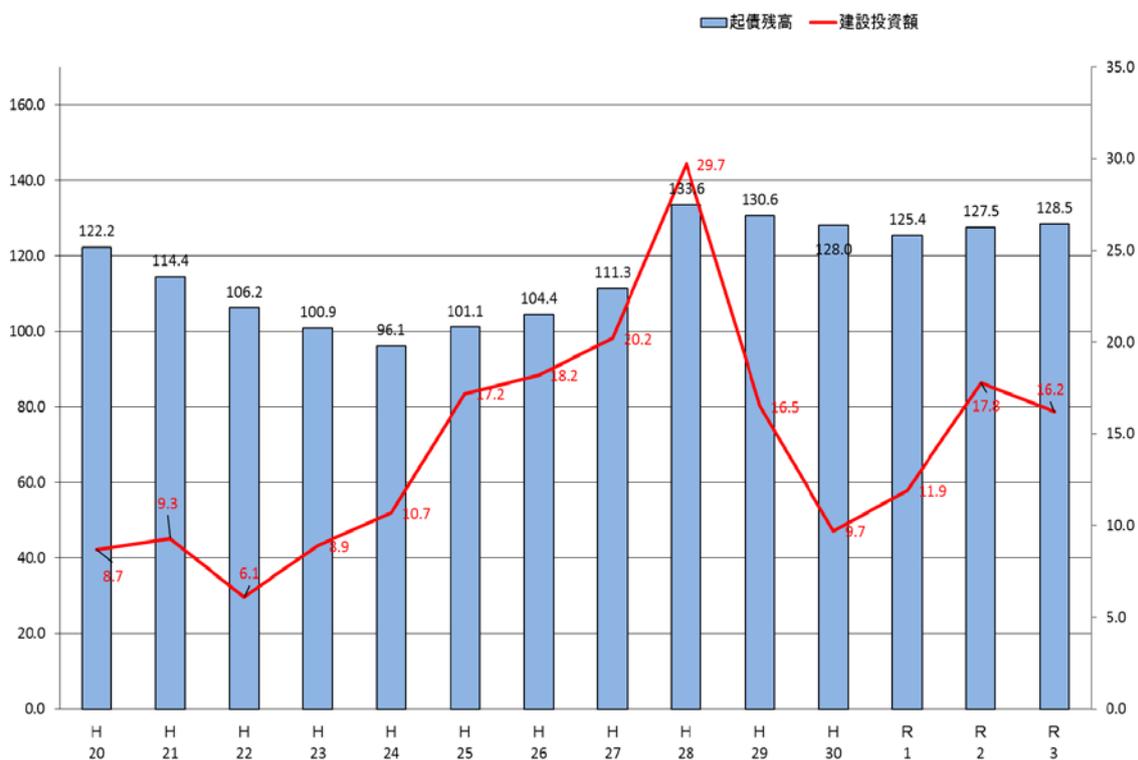


純利益 と 支払利息



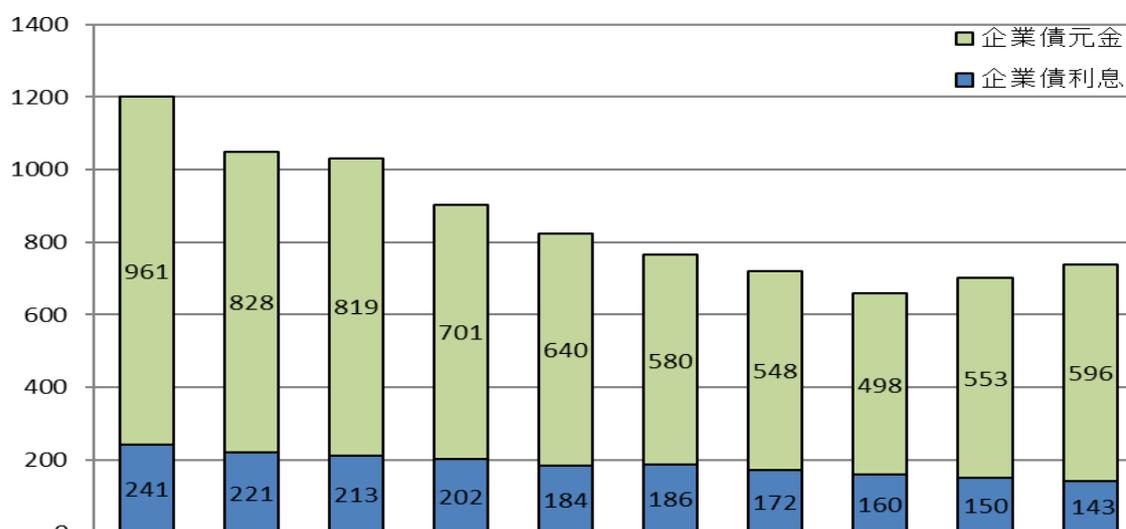
企業債残高
(億円)

建設投資額(税込)と企業債残高



(百万円)

企業債元利償還合計表



企業債元金	961	828	819	701	640	580	548	498	553	596
企業債利息	241	221	213	202	184	186	172	160	150	143